

一般社団法人 岩の力学連合会  
平成 26 年度・第 2 回理事会

議事録

日時	平成 26 年 10 月 23 日, 14:00-17:00	場所	地盤工学会会議室
----	--------------------------------	----	----------

理事会	理事長	尾原 祐三	○	理事	山口 勉	○	理事	笹尾 春夫	○
	副理事長	福井 勝則	○	理事	伊藤 高敏	×	理事	森本 和久	×
	幹事長	坂口 清敏	○	理事	蔣 宇静	×	理事	風間 優	○
	理事	京谷 孝史	×	理事	青木 智幸	○	理事	中山 範一	○
	理事	鈴木 健一郎	○	理事	長田 昌彦	○	理事	岸田 潔	○
	理事	下茂 道人	○	理事	谷 和夫	×			
	監事	福田 直利	○	監事	細野 高康	×			

敬称略順不同, ○:出席, ●スカイプ, ×欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 26-理 2-1	第 1 回理事会 (書面会議) (5/31 締切)議事録
資料 26-理 2-2	臨時理事会(6/27) 議事録
資料 26-理 2-3	第 2 回常任理事会(8/6)議事録
資料 26-理 2-4	臨時理事会 (書面会議) (10/1)議事録
資料 26-理 2-5	会員の入退会
資料 26-理 2-6	平成 26 年度更生予算
資料 26-理 2-7	国際技術委員会
資料 26-理 2-8	電子ジャーナル委員会 (兼 ISRM Congress 2015 論文審査 WG)
資料 26-理 2-9	連合会賞選考委員会
資料 26-理 2-10	理事会・常任理事会および三役会議運営規則
資料 26-理 2-11	今後整備すべき規則について
資料 26-理 2-12	Agenda Asian Council Meeting Oct 214 Sapporo Japan
資料 26-理 2-13	ISRM Council Meeting 2014 報告
資料 26-理 2-14	ISRM Board 2015-2019 - Call for nominations for Vice-Presidents of the Society

理事長挨拶

【議 題】

- 第 1 回理事会 (書面会議) (5/31 締切)議事録  
資料 26-理 2-1 に基づき議事録の確認を行い承認した。
- 臨時理事会(6/27) 議事録  
資料 26-理 2-2 に基づき議事録の確認を行い承認した。
- 第 2 回常任理事会(8/6)議事録  
資料 26-理 2-3 に基づき議事録の確認を行い承認した。

4. 臨時理事会（書面会議）(10/1)議事録  
資料 26-理 2-4 に基づき議事録の確認を行い承認した。
5. 会員の入退会  
資料 26-理 2-5 を用いて現状の入退会状況の説明がなされ、原案通り承認された。
6. 平成 26 年度更生予算  
資料 26-理 2-6 に基づき、基金からの繰入措置に関する更正予算案について説明がなされ、原案通り承認された。
7. 委員会審議・報告事項
  - 1) 編集委員会  
審議・報告事項無し
  - 2) 国際技術委員会  
資料 26-理 2-7 を用いて説明があり、以下の点について確認した。
    - ①Commission on Testing Methods, AE Monitoring の WG について  
第 1 次原稿を石田委員長に取りまとめを依頼して進められている。  
ISRM2015(モンテリオール)には提出するようになっているので、国内では年内にまとめて提出する予定である。
    - ②Commission on Underground Nuclear Power Plant の活動支援について  
ARMS8 で WS を開催することになっているが、サポートは必要ない。  
櫻井委員長はいずれ SM にしたいとの考えがある。
    - ③Vice President sat Large（大西先生）発案事業（Geo-Hazard in Asian Area）の支援について  
ISRM2015（モンテリオール）までには取りまとめたい。  
小山先生を WG リーダーとする組織を作る計画。この WG は国際技術委員会の下に置く。  
活動については、何を具体的にどこまでやるかを見極める必要がある。  
旅費については予備費を充当。
    - ④岩の力学用語集の作成対応  
ISRM が作っているものが今年末に送られてくる予定。以降、日本語化。
    - ⑤日本から SM の提案をしたらどうか。  
現在、地盤工学会で進行している Hydraulic Fracturing 法の基準案を基にするなど。  
青木理事中心にこの案。
  - 3) 電子ジャーナル委員会（兼 ISRM Congress 2015 論文審査 WG）  
資料 26-理 2-8 を用いて説明があった。  
論文の数は 25 編であるが、アブストラクトの投稿は 30 編であったと補足された。
  - 4) Rock Net 委員会  
審議。報告事項無し
  - 5) 連合会賞選考委員会  
資料 26-理 2-9 を用いて説明があった。  
技術賞およびフロンティア賞については、去年は推薦も無かったので、今年度は何か推薦できないかとの要請。また、応募数が少なくなっているため、将来構想委員会での議論も待ちたい。
  - 6) 総務委員会  
「8. 規則の審議」で審議する。

7) ARMS8 組織委員会

別添の資料を用いて、国別参加者数、収支の概要について説明があった。

8. 規則の審議

1) 理事会・常任理事会および三役会議運営規則

資料 26-理 2-10 を用いて、当該規則について審議を行い、下記の修正を持って承認された。

第 4 条（委員会）に新たに「3. 委員長は委員を指名する」を追記し、規則案の 3., 4., 5.をそれぞれ 4., 5., 6.に変更する。

6.については、「6. 委員会は幹事を置くことができる」と修正する。

2) 今後整備すべき規則について

資料 26-理 2-11 を用いて説明があり、今後優先的に整備するものとしては、「情報公開に関する規則」および「個人情報の保護に関する規則」とした。

9. ISRM 関連

1) Asian Council Meeting 2014 報告

資料 26-理 2-12 を用いて報告があった。

2) ISRM Council Meeting 2014 報告

資料 26-理 2-13 を用いて報告があった。

3) ISRM Board 2015-2019 - Call for nominations for Vice-Presidents of the Society

資料 26-理 2-14 を用いて説明があった。

10. その他

審議・報告事項無し。

11. 今後の予定

1) 第 3 回常任理事会（平成 27 年 1 月 日）

【平成 27 年度体制，代議員選挙，各学会に理事の推薦依頼】

2) 第 3 回理事会（平成 27 年 3 月 日）

3) 平成 27 年度第 1 回常任理事会（平成 26 年 5 月 日）

上記を確認した。

以上